



図書館通信

最上校図書委員会 No.23 1月30日

1月図書館企画

第170回 芥川賞・直木賞 決定!

第170回芥川賞・直木賞（日本文学振興会主催）の選考会が、17日、東京築地の料亭「新喜楽」で開かれた。芥川賞に九段理江さん（33）の「東京都同情塔」（新潮12月号）、直木賞に河崎秋子さん（44）の「ともぐい」（新潮社）と万城目学さん（47）の「八月の御所グラウンド」（文芸春秋）がそれぞれ選ばれた。九段さん、河崎さんは候補2回目、万城目さんは6回目での受賞。



九段理江さんは、1990年埼玉県生まれ。2021年、『悪い音楽』で第126回「文学界新人賞」を受賞。受賞後第一作『schoolgirl』が、第166回「芥川賞」候補作となる。

河崎秋子さんは、1979年北海道別海町生まれ。2012年『東陲遺事』で第46回「北海道新聞文学賞」（創作・評論部門）、14年『颯風の王』で「三浦綾子文学賞」、15年同作で「JRA賞馬事文化賞」、19年『肉弾』で第21回「大藪春彦賞」を受賞する。最新刊『土に贖う』で、「新田次郎賞」を受賞。

万城目学さんは、1976年生まれ大阪府出身。京都大学法学部卒。2006年、『鴨川ホルモー』で第4回「ボイルドエッグズ新人賞」を受賞しデビュー。主な作品に、『鹿男あをによし』『プリンセス・トヨトミ』『偉大なる、しゅららぼん』などがあり、いずれも文学賞ノミネート、映像化等など、大きな話題を呼ぶ。またエッセイ集に、『ザ・万歩計』『ザ・万遊記』、対談本に『ぼくらの近代建築デラックス!』がある。

第170回芥川賞・直木賞 受賞作品の紹介!



第170回芥川賞受賞 九段 理江 『東京都同情塔』

ザハの国立競技場が完成し、犯罪者は同情すべきという「寛容論」が浸透したもう一つの日本で、新しい刑務所「シンパシータワートークヨー」が建てられることに。犯罪者に寛容になれない建築家・牧名沙羅は、仕事と信条の乖離に苦悩しながらパワフルに未来を追求する。



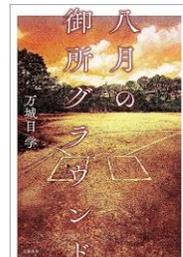
第170回直木賞受賞 河崎 秋子 『ともぐい』

己は人間のなりをした何ものか——人と獣の理屈なき命の応酬の果てには。明治後期の北海道の山で、猟師というより獣そのものの嗅覚で獲物と対峙する男、熊爪。凶らずも我が領分を侵した穴持たずの熊、靈感的な盲目の少女、ロシアとの戦争に向かってきな臭さを漂わせる時代の変化……すべてが運命を狂わせてゆく。人間、そして獣たちの業と悲哀が心を揺さぶる、河崎流動物文学の最高到達点!



第170回直木賞受賞 万城目 学 『八月の御所グラウンド』

女子全国高校駅伝——都大路にピンチランナーとして挑む、絶望的に方向音痴な女子高校生。謎の草野球大会——借金のカタに、早朝の御所G（グラウンド）でたまひで杯に参加する羽目になった大学生。京都で起きる、幻のような出会いが生んだドラマとは——。



第170回芥川賞・直木賞候補作品も読んでみよう!

 安堂 ホセ 『迷彩色の男』	 川野 芽生 『Blue』	 小砂川チト 『猿の戴冠式』	 三木 三奈 『アイスネルワイゼン』
 加藤シゲアキ 『なれのはて』	 嶋津 輝 『褌（たすき）がけの二人』	 宮内 悠介 『ラウリ・コースクを探して』	 村木 嵐 『まいまいつぶる』

新年にオススメの新刊！



『可燃物』 米澤穂信著

余計なことは喋らない。上司から疎まれる。部下にもよい上司とは思われていない。しかし、捜査能力は卓越している。葛警部だけに見えている世界がある。群馬県警を舞台にした新たなミステリーシリーズ。

『禍 わざわい』 小田雅久仁著

セカイの底を、覗いてみたくないか？恋人の百合子が失踪した。彼女の住むアパートを訪れた私は、隣人を名乗る男と遭遇する。そこで語られる、奇妙な話の数々。

『アミュレット・ホテル』 方丈貴恵著

殺し屋、詐欺師、窃盗グループの皆様、犯罪者御用達ホテルによるこそ。アミュレット・ホテルは2つのルールさえ守っていただければ、どんなサービスでもご提供いたします。ただし、ルールを破った方には、それ相応の対価を支払っていただきます。警察に通報したりはいたしません。



『##NAME##』 児玉雨子著

光に照らされ君といたあの時間を、人は闇と呼ぶ。かつてジュニアアイドルの活動をしていた雪那。少年漫画の夢小説にハマり、名前を空欄のまま読んでいた。



『逆転正義』 下村敦史著

「あなたはそんなに正しいの？」あなたの知らない自分に出会える目から鱗だらけの短編ミステリ集。



『マリエ』 千早茜著

「離婚って失敗なの？」「恋愛と結婚って別物？」おとなの女性の結婚と幸福をめぐる物語。



『十戒』 夕木春央著

殺人犯を見つけてはならない。それが、わたしたちに課された戒律だった。犯人が下す神罰を恐れながら、十戒に従う3日間が始まった。



『球形の囁き』 長岡弘樹著

母娘の際立つ推理力が導き出した、難事件の真相とは？



『リカバリー・カバヒコ』 青山美智子著

新築分譲マンション、アドヴァンス・ヒル。近くの日の出公園にある古びたカバの遊具カバヒコには、自分の治したい部分と同じ部分を触ると回復するという都市伝説がある。人呼んで、リカバリー・カバヒコ。



『鏡の国』 西岡琢磨著

作家・室見響子の遺稿が見つかった。鏡の国には、削除されたエピソードがあるらしい。削除されたパートは実在するのか、響子はそのシーンをなぜ削除したのか。その答えが明かされた時、驚愕の真実が浮かび上がる。



『でいすべる』 今村昌弘著

死の謎は奥郷町の七不思議に隠されているのか？三人の揭示係が挑む小学校生活最後の謎。こんな小学6年生でありたかった、という思いを掻き立てる傑作推理長編。



『虚空教典』 剣持刀也著

にじさんじ所属のバーチャルライバー剣持刀也は16歳の高校2年生。剣道部所属の隠れまじめ系男子。稀代のエンターテイナー剣持刀也ファーストエッセイ。



新庄北高最上校図書館2月開放カレンダー

2月図書館企画 バレンタイン特集・第3回朝読書特集

日	月	火	水	木	金	土
				1 入選準備	2 推薦入学者選抜	3
4	5	6	7	8	9	10
11 建国記念日	12 振替休日	13	14 学年末試験	15 学年末試験	16 学年末試験	17
18	19	20	21	22	23 天皇誕生日	24
25	26	27	28	29		

※○数字の日が開放日です

※3月の開放はお休みさせていただきます。